

第3回「京都市中小企業未来力会議」次第

日時 平成29年1月31日（火）

午後6時30分から

場所 京都中央信用金庫本店9階大ホール

1 開会あいさつ

京都市長 門川 大作

2 ビジネスプラン発案者からのプレゼンテーション

(1) ICTを活用した高齢者見守りサービス

京都電子計算株式会社執行役員 佐藤 豊 氏

(2) 京都の学生に京都の中小企業も魅力を伝え、就職につなげる

京都中小企業家同友会政策委員長 宿野 秀晴 氏

(3) 大政奉還150周年記念企画

～幕末関連の石碑をAR技術で紹介するアプリ開発～

京都青年中央会顧問 芳村 敦 氏

(4) 京町家を「子育てへの不安が解消できる場」にする

～日本の伝統を次世代につなぐ保育事業「親子園」の開設～

株式会社和える西日本統括本部長 田房 夏波 氏

(5) 商店街の空き店舗を活用した伏見の魅力を発信する拠点づくり

伏見大手筋振興組合理事長 浅野 雄祐 氏

3 参加者への呼びかけ等

(1) 「未来力会議関連コーナー」の提供

有限会社中村ローソク代表取締役 田川 広一 氏

(2) 多様な組織の交流・連携の促進

京都府中小企業団体中央会連携支援課長 五十棲 雅人 氏

4 ビジネスプランのブラッシュアップについて

進行 NPO法人ミラック代表理事 西村 勇哉 氏
専門家

NOSIGNER代表 太刀川 瑛弼 氏

株式会社ウエダ本社代表取締役社長 岡村 充泰 氏

5 ビジネスプランについてのディスカッション

■平成28年度京都市中小企業未来力会議の流れ

各回の目的（到達点）

異業種連携による取組等の素材となるアイデアを数多く出す

異業種連携等で取り組む新たなプランや支援策の案をつくる

新たなプランや支援策の発表、意見交換

最終目標
（アウトプット）

参加者の
自発的取組

（異業種連携による新ビジネスの実施等）

新たな
支援策の
創 設

既存の
支援策への
誘導

第1回会議
（8/18）

アイデアの
素材出し

集約
テーマに分類
作業
ワーキング
グループ

第2回会議
（10/25）

多種多様な参加者で
様々な案を練る

- 異業種連携等で取り組む新たなプランの案
- 中小企業支援策の案

マッチング
コーディネート
作業
ワーキング
グループ

第3回会議
（1/31）

- 新たなプランや中小企業支援策の発表
- 参加者で意見交換して更なる磨き上げ

伝統産業をどうにかしたい
色々な人とつながる場をつくる
大学の研究と共同すればよい
もっと空き店舗を活用したらよい
地域の活性化は商店街から
人手不足で若者を積極的に雇用したい

<コンセプトの分類>

- ①: 高齢者が安心して暮らせるまち
- ②: 災害対策のあるまち
- ③: 伝統産業を守るまち
- ④: 学びのあるまち
- ⑤: 起業／ビジネスのしやすいまち
- ⑥: イベントのあるまち
- ⑦: 子育てをしやすいまち
- ⑧: 医療にアクセスしやすいまち
- ⑨: 行きたくなるまち

コンセプトに基づいた新サービスや新事業、中小企業支援策のアイデアを募集

情報発信

会と会の合間にも、様々な情報を参加者にダイレクトにお届けする。
（メーリングリストやFacebookの活用、ニュースレターの発行、本市の広報発表内容、最先端のビジネス情報等）

顧問委員会（アドバイザーボード）名簿

経済団体，中小企業等の業界団体，金融機関の代表など，豊富な知識・経験や幅広い人脈をもち，各界から尊敬を集める企業経営者等のメンバー（下記参照）で構成しています。

会議において，ゲストスピーカーとして成功事例や体験談等を講演いただくほか，会議からの提案の具体化に向けたアドバイス等を行うこととしています。

名 前	役 職 等
渡邊 隆夫	京都府中小企業団体中央会 会長
安藤 源行	京都府中小企業団体中央会 副会長
阪口 雄次	公益財団法人京都中小企業振興センター 理事長
宇津 克美	京都府商店街振興組合連合会 会長
岡野 益巳	京都商工会議所 中小企業活性化委員会 委員長
中西 たえ子	京都商工会議所女性会 会長
増田 寿幸	一般社団法人京都経済同友会 代表幹事 京都信用金庫 理事長
井上 誠二	京都中小企業家同友会 常任相談役
北原 茂樹	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
土井 伸宏	株式会社京都銀行 頭取
白波瀬 誠	京都中央信用金庫 理事長
小倉 悟	日本政策金融公庫京都支店 国民生活事業統轄
富家 政彦	株式会社商工組合中央金庫 京都支店長

第3回「京都市中小企業未来力会議」参加者名簿

○ 参加者

種別	氏 名	所 属 等
顧問	渡邊 隆夫	京都府中小企業団体中央会会長
	安藤 源行	京都府中小企業団体中央会副会長
	阪口 雄次	(公財) 京都中小企業振興センター理事長
	井上 誠二	京都中小企業家同友会常任相談役
	北原 茂樹	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
	白波瀬 誠	京都中央信用金庫理事長
	小倉 悟	日本政策金融公庫京都支店 国民生活事業統轄
	富家 政彦	商工組合中央金庫京都支店長
世話人	芳村 敦	京都青年中央会顧問
	浅野 雄祐	伏見大手筋商店街振興組合理事長
	安部 孝幸	京都銀行公務・地域連携部次長
	石川 武	三共精機(株) 代表取締役社長
	五十棲 雅人	京都府中小企業団体中央会 連携支援課長
	市川 浩也	バルドデザイン代表
	伊藤 佳奈子	京都信用金庫住宅ローン推進部 代理
	太田 航平	京都ラジオカフェ(株) 代表取締役
	大齒 明憲	商工組合中央金庫京都支店 次長
	大久 拓	公益財団法人松下政経塾第36期生(株) ウエダ本社)
	岡野 恵美	京都青年中央会会長
	岡村 充泰	(株) ウエダ本社 代表取締役社長
	荻原 靖	京都中小企業家同友会専務理事
	小野 嘉広	伏見大手筋商店街振興組合常務理事(株) 小野デンキ代表取締役社長)
	各務 亮	プロデューサー
	笠井 博有	笠井建設(株) 代表取締役
	梶山 哲平	京都信用金庫企業成長推進部 主任
	片岡 靖	京都府中小企業団体中央会 企画調整課担当課長
	河村 泰三	京都中小企業家同友会東山支部長(京都電工(株) 代表取締役社長)
	木下 悦子	(株) ルーツ コーディネーター(キュレーター塾生)
	栗須 亮	日本政策金融公庫京都支店国民生活事業 課長代理
	孝本 浩基	京都市ソーシャルイノベーション研究所事務局長
	是洞 孝幸	京都府中小企業団体中央会 連携支援課担当課長
	坂越 雅生	京都信用保証協会業務部期中支援課長
	阪本 純子	阪本純子中小企業診断士事務所代表(キュレーター塾生)
	佐々木 浩二	納屋町商店街副理事長(ササキパン本店代表)
	佐々木 浩二	京都府中小企業団体中央会 総務情報課長
	佐藤 豊	京都電子計算(株) 執行役員文教・民間事業部長
	四方 裕	株式会社やまとカーボン社代表取締役社長
	志磨 弘道	京都中小企業家同友会理事・右京支部長(日栄無線(株) 取締役社長)
	宿野 秀晴	京都中小企業家同友会政策委員長(株)MedicoTec代表取締役)
	田川 広一	(有) 中村ローソク代表取締役社長
	竹本 信也	京都商工会議所青年部副会長(近三代表)
	田島 慎也	京都中小企業家同友会事務局長
	太刀川 瑛弼	N O S I G N E R 代表
	田中 裕也	京都中小企業家同友会政策委員(瓦久 田中瓦店)
	田中 慎	税理士法人田中経営会計事務所(キュレーター塾生)
	田房 夏波	(株) 和える 西日本統括本部長
	戸田 紳司	京都中小企業家同友会理事・政策委員(有) コーチ・しおん代表取締役)
	直海 康明	日本政策金融公庫京都支店国民生活事業 課長代理
	中井 忍	京都中央信用金庫営業推進第一部営業開発課課長代理
	中川 雄介	N P O 法人伏見観光協会事務局長(有) 伏見プランニングセンター)
	中嶋 由貴子	日本政策金融公庫京都支店中小企業事業
	永田 美穂子	京都商工会議所中小企業支援センター企画・計画担当課長
	西田 隆行	京都中央信用金庫営業推進第一部営業開発課課長代理
	西村 かおり	伝統産業青年会(八尋製作所代表)

種別	氏 名	所 属 等
	西脇 正博	京都中小企業家同友会政策委員会副委員長（西脇司法書士事務所所長）
	野本 浩司	（株）素久製作所 代表取締役社長
	馬場 博幸	シノブヤ造園土木代表
	菱田 喜之	京都信用金庫企業成長推進部課長
	人見 毅	京都中小企業家同友会中京支部長（人見建設（株）代表取締役社長）
	平井 誠一	（株）西利代表取締役社長
	福岡 亮	京都銀行公務地域連携部地域活性化室次長
	福西 圭	京都商工会議所青年部副会長（office shin（株）代表取締役）
	福原 次信	京都中小企業家同友会政策委員（（有）アイ・ワーク代表取締役）
	藤崎 壮滋	納屋町商店街（ピアピアコミュニティサポート合同会社代表）
	藤原 大門	京都中小企業家同友会政策委員（（株）ジェイネットハウジング代表取締役）
	二島 啓弥	日本政策金融公庫京都支店農林水産事業 課長代理
	古久保 雲母	京都商工会議所青年部会長（㈱K F J 代表取締役）
	前田 展広	京都市ソーシャルイノベーション研究所イノベーションコーディネーター
	正木 丈也	リンクナチュラルジャパン（株）代表取締役
	松下 晶	ボンジュール現代文明主宰（キュレーター塾生）
	美並 剛司	京都中央信用金庫営業推進第一部営業開発課課長代理
	南野 高伸	京都信用保証協会業務部保証推進第二課長
	宮本 博司	（株）樽徳商店 代表取締役社長
	村上 敦	京都電子計算（株）執行役員事業戦略担当
	村上 幸総	京都市青年経営者研究会（（株）村上製作所専務取締役）
	望主 清隆	京都青年印刷人月曜会（（株）望主アート代表取締役）
	山口 恵子	（株）山口書店 副社長
	山口 明裕	京都府商工労働観光部商業・経営支援課主査
	吉川 忠男	サンケイデザイン（株）代表取締役
	米田 明	京都中小企業家同友会副代表理事（シスポーツ（株）代表取締役）

○ 市出席者（事務局を除く）

	給田 英樹	産業観光局産業戦略部産業政策課課長補佐
	真鍋 隆浩	産業観光局産業戦略部産業政策課調整係長
	森岡 環	産業観光局産業戦略部産業政策課企画係長
	和田 洋平	産業観光局産業戦略部産業政策課
	林 幸一	産業観光局商工部商業振興課企画係長
	藤本 清敏	産業観光局商工部商業振興課振興係長
	栗山 剛	産業観光局商工部商業振興課地域商業活性化係長
	中山 晋一	産業観光局商工部伝統産業課工芸係長
	山本 恵果	産業観光局商工部伝統産業課染織係長
	齋藤 卓也	産業観光局新産業振興室調査係長
	中野 雄介	産業観光局観光M I C E 推進室調整係長
	横下 智行	文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課担当係長
	渡邊 真美	保健福祉局子育て支援部保育課地域子育て支援担当課長
	樋掛 実喜雄	北区役所地域力推進室総務・防災課長
	宮原 崇	右京区役所地域力推進室企画係長
	尾上 晋太郎	産業観光局商工部中小企業振興課課長補佐
	仲筋 裕則	産業観光局商工部中小企業振興課課長補佐
	山下 修平	産業観光局商工部中小企業振興課経営支援係長
	小林 かえで	産業観光局商工部中小企業振興課

○ 事務局等

	門川 大作	市長
	岡田 憲和	副市長
	村上 圭子	産業戦略監
	安河内 博	産業観光局商工部長
	小山 幸司郎	産業観光局商工部中小企業振興課長
	多田納 一真	産業観光局商工部中小企業振興課担当課長補佐
	畑中 伸夫	産業観光局商工部中小企業振興課
	橋 優作	産業観光局商工部中小企業振興課

第3回京都市中小企業未来力会議 プレゼンテーション資料

- ① ICTを活用した高齢者見守りサービス
- ② 京都の学生・大学に京都の中小企業の魅力を伝え、就職につなげる
- ③ 大政奉還150周年記念企画
～幕末関連の石碑をAR技術で紹介するアプリ開発～
- ④ 京町家を「子育てへの不安が解消できる場」にする
～日本の伝統を次世代につなぐ保育事業「親子園」の開設～
- ⑤ 商店街の空き店舗を活用した伏見の魅力を発信する拠点づくり

① ICTを活用した高齢者見守りサービス

京都電子計算株式会社執行役員 佐藤 豊

■第2回会議のプロジェクト・アイデア

新聞配達の際、ポストに新聞がたまっている時に緊急連絡先に連絡するサービスなど、ICTを活用した高齢者見守りサービスの実現に向けた手法を考えたい。



■第2回会議のWSの参考意見

配達の際に買い物伝票を回収し、地元商店街に発注する仕組みや、障害者向けのデイサービスのノウハウ、複数のメンテナンスを行うことのできるビル管理会社との連携等が考えられるのではないかな。



■プラン（案）

超高齢化社会を見据えた独居高齢者をターゲットとしたICTで情報連携した統合サービスを実現

○事業者連携(統合サービス)(案)

新聞販売店(高齢者見守りサービス)、地元商店街等(宅配サービス)、ビルメンテナンス会社(部屋掃除や電球交換等のお困りサービス)、福祉関連事業者(訪問介護・障害者サービス)等

○情報共有の仕組み

ICTを活用した情報共有のシステムを開発(または利用)し、「生活支援サービスコーディネーター」が必要なサービスを提案 ※イメージ図(別紙参照)

○利用者のターゲット

要介護認定に届かない独居高齢者が中心(高齢者と別居している家族にもアプローチ)



■第3回会議での議論ポイント

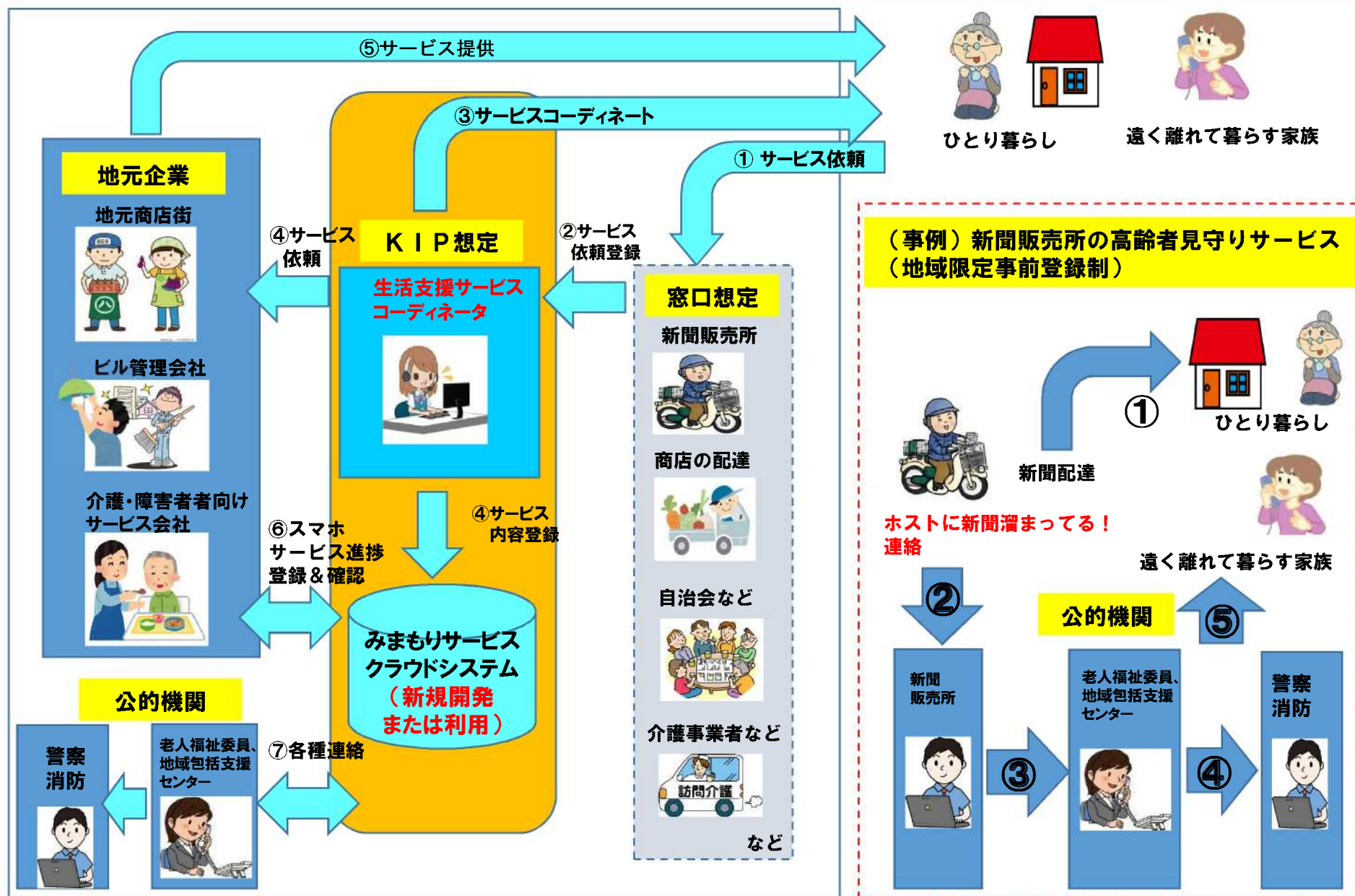
要介護認定に届かない独居高齢者をターゲットに、どういうサービス展開が考えられるか、皆様の意見をいただきたい。

(①賛同いただける事業者間ネットワークづくり ②既存サービスの洗い出しと分類、枠組みづくり ③運営方法)

I C T を活用した高齢者見守りサービス

地域包括ケアシステム(イメージ図)

京都電子計算株式会社執行役員 佐藤 豊



②京都の学生・大学に京都の中小企業の魅力を伝え、就職につなげる

京都中小企業家同友会政策委員長（Medico-tec株式会社代表取締役社長）宿野 秀晴

■第2回会議のプロジェクト・アイデア

大企業にはない中小企業の魅力をアピールし、京都の学生を京都の中小企業に就職させるための取組を考えたい。



■第2回会議のWSの参考意見

- 学生目線で中小企業を紹介することが大事。中小企業の魅力をしっかり大学に伝えていくべき。
- 若手経営者と学生が講演会やディスカッションをする場を増やしていくべき。



■プラン（案）

未来志向をもつ中小企業の魅力を発信して「多様な働く場と働き方」があることを学生等に伝える。

- ①学生や大学教員・職員と中小企業経営者とのディスカッションの場を持つ
- ②中小企業経営者やNPO等が大学で講義の場を持つ
- ③共感した学生や大学職員が「企業内での研修」の場を持つ
- ④親や子どもへのアプローチの場（ものづくり塾、子ども向けの職業体験等）を持つ

①②③④を連動させ、継続的かつ幅広く実施するため、地域の様々な中小企業経営者やNPO、金融機関等が連携して、大学・学生等に伝える・広げる活動ができるよう、企業や団体の枠を超えた地域での働き方等を発信することを目的とした「中小企業の魅力発信を行うネットワーク体制」をつくりたい。



■第3回会議での議論ポイント

未来志向をもつ京都の中小企業の魅力を学生に伝えるため、中小企業と大学等との連携の場を広げる活動を行うにはどのようなネットワークづくりの手法が考えられるか、皆様の意見をいただきたい。

③大政奉還150周年記念企画～幕末関連の石碑をAR技術で紹介するアプリ開発～

京都青年中央会顧問 芳村 敦

■第2回会議のプロジェクト・アイデア

二条城二の丸御殿で起きたできごとをAR技術を活用して実写化し、タブレット端末によって楽しむなど、大政奉還150周年記念企画の取組を考えたい。

■第2回会議のWSの参考意見

- ポケモンGoを参考に「幕末Go」のような、大政奉還に関連するコンテンツを製作するのはどうか。
- アニメの活用を市内大学と連携して検討してはどうか。

■プラン（案）

京都市内の幕末関連の石碑等をピックアップ(歴史資料館のデータベースを活用)し、現地でスマートフォンをかざすと、AR技術を活用した紹介動画や説明を行うことのできるアプリ等を京都の中小企業の力を結集して開発し、大政奉還150周年を盛り上げる。

○推進するプロジェクトチーム…京都市内の中小企業を中心に構成

印刷業者(AR技術)、石材業者(石碑のポイントマーカ等の作成)、広告業者(事業の広報)、ITに精通した中小企業診断士、幕末を語るボランティアガイド、アニメ制作ができる学生等

○事業経費等の考え方

企画を固めたうえで、クラウドファンディングを実施⇒資金調達だけでなく、賛同者を集める
協賛企業の募集、開発したアプリの広告収入等

○事業効果

大政奉還150周年記念の盛り上げ、歴史の伝承、京都の中小企業の魅力発信⇒観光客の増加

■第3回会議での議論ポイント

事業を進めていくに当たり、どういうPRをしていけば、賛同者や協力者を増やすことができるか、皆様の意見をいただきたい。

④京町家を「子育てへの不安が解消できる場」にする～日本の伝統を次世代につなぐ保育事業「親子園」の開設～ 株式会社和える西日本統括本部長 田房 夏波

■第2回会議のプロジェクト・アイデア

京町家で店を構える「aeru gojo」の空間を題材に、子育て経験者と未経験者の交流会・栄養士による離乳食講座など、町家を活用した場づくりについて考えたい。

■第2回会議のWSの参考意見

- 男性が参加しやすい企画は、父親が育児に関わるきっかけとなり、家族にとってプラスになる。
- 京町家で伝統産業が体験できる場など、他にはない特色をアピールしていくべき。

■プラン（案）日本の伝統を次世代につなぐ保育事業「親子園」の開設

内閣府「企業主導型保育事業」を活用し、日本の伝統を次世代につなぐ(株)和えると、想いを同じくする京都の事業者従業員の子どもをお預かりする。子どもの発達に関する最新の研究成果を、保育の現場に取り入れるモデル園として、幼少期の感性を育む「和える教育」を確立する。

○これまでの検討状況

- ・白梅学園大学の臨床教育学の教授とともに、保育カリキュラムの研究・開発を行っている。
- ・**保育カリキュラムに盛り込むことを見据え、日本のものづくりの素材を活用したワークショップを実施**
- ・「親子園」の開設候補地や、連携する事業者探しを実施中。
- ・全社員の保育士資格取得を目指し、準備をスタート。
- ・数名の子どもの受け入れから始め、19名までの小規模保育事業を行う。2018年4月開園予定。

■第3回会議での議論ポイント

「親子園」のカリキュラムでは、京都のものづくり(伝統産業から先端技術まで)に触れることのできる、親子向けのワークショップを充実したい。子どもたちに提供可能な「京都のものづくりの過程で生じる素材」にどのようなものがあり、どのようなワークショップが考えられるか、皆様のご意見をいただきたい。

⑤商店街の空き店舗を活用した伏見の魅力を発信する拠点づくり

伏見大手筋商店街振興組合理事長 浅野 雄祐

■第2回会議のプロジェクト・アイデア

外国人旅行客など新規の観光客を呼び込むため、商店街の空き店舗を活用した伏見の魅力を幅広く発信する拠点をつくるためのアイデアを考えたい。

■第2回会議のWSの参考意見

○観光客向けの体験型メニューが必要。 ○まちゼミを取り入れてはどうか。

■プラン（案）

名 称	「伏見大手筋インフォメーションセンター」
コンセプト	万人にまず大手筋の目印としてきてもらえる場づくり

■提供するコンテンツ（案）

①まちゼミの開講

大手筋商店街の店主等が講師となり、専門知識やプロならではのコツを提供するゼミなどを開講し、地域住民等が集う場にする。

②フシミ大学（バーチャル大学）の開設

伏見地域の魅力を学ぶ講座（①まちゼミも含む）等を作り、インターネットのHPで参加者を募集する「バーチャル大学」を開設。

※平成29年4月1日にオープン予定。運営は、コンサル会社に委託。

③「伏見の清酒」の魅力発信

伏見酒造組合と連携し、利き酒体験や酒蔵の見学ツアーなど、「伏見の清酒」の魅力を発信。

④伏見地域の観光案内

十石舟や寺田屋、月桂冠大倉記念館等、伏見の観光スポット案内や特別割引券の配布を実施。

⑤大手筋商店街のオトク情報の発信

大手筋商店街で利用できるサービス券の配布など、商店街のオトク情報が得られる場とする。

■第3回会議での議論ポイント

「伏見大手筋インフォメーションセンター」で提供予定のコンテンツのうち、商店街の全119店舗全体で大手筋を盛り上げていく可能性を秘める「まちゼミの開講」について、内容や活性化に向けた手法等について意見をいただきたい。